

おだがいさま

odagaisama

第21号
平成21年
3月15日発行

子ども達の
学びをサポート
します！

生活支援員の活動紹介(P2~P3)

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金
ご協力ありがとうございました(P4~5)

情報掲示板(P6)

福祉学習サポーター

『総合的な学習の時間』などで福祉学習を行う際、『福祉学習サポーター』が学校に出向いて体験学習などのサポートをしています。福祉学習サポーターは、現在約10名が活動しており、養成講座を受講後ボランティアセンターに登録され、小学校などからの要請を受けて各学校へ派遣されます。

2月13日に鶴岡市立朝陽第一小学校で行われた福祉学習では、アイマスクをしての視覚障がい者体験や車イス介助の体験などを行った際、福祉学習サポーターは、安全に気を配りながら子ども達に分かりやすく説明を行っていました。

福祉学習サポーターへのお問い合わせは鶴岡市ボランティアセンター(☎23-2970)まで

地域で安心して暮らし続けるために……

生活支援員の活動紹介

鶴岡市社会福祉協議会では、高齢もしくは障がいなどにより、日常生活に不安のある方々に、地域で安心して暮らし続けていただくために、大切な書類の預りや金銭の管理、福祉サービス利用に関する援助などを行う「福祉サービス利用援助事業」を実施しています。

この事業は、最初に担当職員である「専門員」が相談を受け、ご本人の意思を確かめながら、支援計画の作成・契約を行った後、社会福祉協議会から業務を委嘱された「生活支援員」が実際の援助サービスを開始します。

「生活支援員」は、定期的に利用者の生活の場を訪問し、支援計画に沿った金銭の出し入れや、各種手続を行うだけでなく、利用者からの相談に親身に対応し、生活上のアドバイスを行ったり、時には訪問の際に気になった生活状況の変化を専門員に報告し、一緒にケース検討を行うなど、利用者の安全確保と権利擁護のために重要な役割を担っています。

現在「生活支援員」として活動されている太田岑夫さんと石塚理起子さんからお話を伺いましたので、活動の様子と合わせてご紹介いたします。

「福祉サービス利用援助事業」についてのお問い合わせは
鶴岡市社会福祉協議会地域福祉課または各福祉センターまで

— 生活支援員としてどのような活動をしていますか？

太田 私たち生活支援員は、専門員が立てた計画に基づいて、金銭管理が必要な利用者の方から通帳をお預かりし、銀行などの金融機関へ行って生活費の払い出しや公共料金の振込みなどをさせていただいています。現在、私は四人の男性利用者を担当し、月二回お宅へ訪問して活動を行っています。

石塚 私は、女性の利用者五人を担当していますが、在宅の方だけでなく、施設を利用されている方もいるので、施設に出向いてお金を届けたり、利用料の払い込みをしたりもしています。

— 生活支援員として活動するようになったきっかけは？

石塚 以前、社会福祉協議会のヘルパーとして勤めていて、退職する時に「やってみないか。」と声がかかり、活動始めて七年目になりますが、人様の通帳を



お預かりする訳ですから、やっぱり緊張感があります。仕事を辞めてしまったら緊張感も少なくなるので、自分自身の生きがいづくりのためもあり、引き受けました。

太田

太田 家内が五、六年前から支援員として活動をしていて、私も退職し、家内に誘われて活動

を始めることにしました。男性の利用者だと女性の支援員が行きにくいという場合もありますが、当時は、男性の支援員がいなかったもので、男性の支援員が必要だったようです。

— 利用者との関わりで印象に残っていることは？

石塚 生活費の管理が難しくなった方に、定期的に生活費を届けたり、生活上のアドバイスを行ったことで、一年ほど経った頃から徐々に生活にも余裕が出始めた方がいます。最初は「自分のお金なのに使いたい時に使えなくて楽しくないなあ。」という感じだったのですが、お金に余裕ができていくことに喜びを感じ、それを励みに次第に規則正しい生活ができるようになっていきました。上手くいったケースとして印象に残っています。

太田 感情を絶対に表に出さず、過去の経緯から人に顔を見られるのも嫌だというAさんとは、一年くらいずっと事務的



石塚 理起子 さん

いかに安心して私たちを受け入れていただくかだと思います。「大丈夫だよ。」って安心感を与えていきたい仕事ですね。その人にとっての禁句もあるのうになつてきました。専門員へ相談することもありますし、一人ではないと思うことで安心して仕事をすることが出来ます。そして、利用者が一人ではないのだと安心感を持って生活していけるように、その人にとつての大きな支えの一部になりたいものだなと思います。

— 利用者との関わりで心がけていることはありますか？

石塚 いかに安心して私たちを受け入れていただくかだと思います。「大丈夫だよ。」って安心感を与えていきたい仕事ですね。その人にとっての禁句もあるの

で、専門員から利用者の生活状況や歴史をあらかじめ確認して、上手にコミュニケーションをとりながら関係を築いています。

— 生活支援員の活動をしてみてどのようなことを感じていますか？

太田 やつぱりマニュアルどおりにいかないこともありますので、臨機応変に活動していきたいと思っています。行き詰まることもあります何がとか続けてこれました。というよりも続けさせてもらっているのかな？相手あつてのことなので本当におたがいさまだと思います。

石塚 いろんな人や関係機関と連携をとりながら、一人でこの仕事をしているのではないということを実感しています。近隣の方にも定着して理解を得られるようになってきました。専門員へ相談することもありますし、一人ではないと思うことで安心して仕事をすることが出来ます。そして、利用者が一人ではないのだと安心感を持って生活していけるように、その人にとつての大きな支えの一部になりたいものだなと思います。

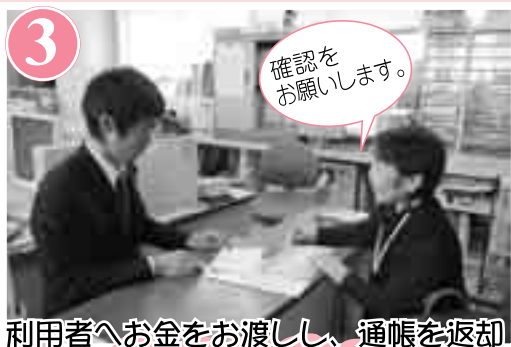
生活支援員さん

活動の様子

生活支援員さんは実際にどのように活動しているのでしょうか？石塚さんが活動している様子を見学してきました。



銀行や農協などの金融機関へ行き、必要なお金の払い出しをします。身分証明書を提示して窓口で手続きを行います。



利用者へお金をお渡しし、通帳を返却したら、記録に必要事項を記入して社会福祉協議会に提出し専門員に報告を行います。



1 利用者のお宅や福祉施設などに出向き、ご本人（または施設職員）から通帳をお預かりします。この時、利用者とお話をしたり、健康状態を観察したりして小さな変化でも気が付いたことがあれば専門員へ報告します。

けあい募金 ぎいました

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金については、町内会長、区長、自治会長、民生児童委員の皆さまをはじめ、学校、事業所、商店や各団体など、多くの方々のあたたかいご支援のおかげで、大変大きな実績を収めさせていただきました。ご協力いただきました市民の皆さま方に心から感謝申し上げます。今年度、皆さまよりいただきました募金の実績額と、赤い羽根募金・歳末たすけあい募金それぞれの使われ方についてお知らせいたします。

赤い羽根募金と歳末たすけあい募金について

赤い羽根募金と歳末たすけあい募金の、それぞれの平成20年度募金実績額と配分先(使われ方)についてお知らせいたします。

	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金
募金実績額	17,139,079円	9,791,827円
配分先 (使われ方)	○山形県内全域を対象に、申請いただいた福祉施設、団体などに配分されます。今年度、鶴岡市内からは30の福祉施設や団体より申請をいただきましたので、平成21年度に行う福祉事業や福祉車両購入などのために活用される予定です。 ○鶴岡市社会福祉協議会が行う地域福祉活動(福祉教育の推進・高齢者の生きがいづくり活動など)推進のために配分されます。 ※各市町村で集められた募金は全て山形県共同募金会に送金され、一度集約された募金が原資となり、鶴岡市内の施設などからの申請に応じた額で配分を受ける形となります。	新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人たちが、地域で安心して暮らすことができるように、福祉関係団体や行政などにより構成されている「歳末たすけあい配分委員会」にて検討し下記の方々へ配分いたしました。 ①鶴岡市内の経済的に支援を必要とする世帯 ②児童養護施設入所児童・生徒

ありがとうメッセージ

赤い羽根募金の配分を受けて事業を行った福祉団体からいただいた「ありがとうメッセージ」を紹介します。

鶴岡市第一学区社会福祉協議会

小中学生を対象にサマーボランティア体験学習を実施、夏休みを利用しての活動でしたが、それぞれの場所で楽しく交流をしていました。

参加した児童生徒からの感想文には、「ぜひ来年も続けてほしい」、また「将来は介護士や保育士など福祉関係に進みたい」との希望が寄せられています。

地域への人助け、いたわりの心を一寸でも感じていただき、博愛の精神を学んで貰えば幸いに思うところです。皆さまの温かい貴重な募金を使わせていただき感謝申し上げます。

～コーディネーターより～



社会福祉法人思恩会

養護老人ホーム湯野浜思恩園

この度は山形県共同募金会より、立派なお車をいただきまして、誠にありがとうございました。

通院のため、昨日はじめて利用させていただきました。あまりにも立派で乗り心地も良く驚きました。私は足が悪くホーム内でも老人車に頼って生活しています。通院は、職員の方に付き添われることが多いので、最高に良い車を寄附していただいて、感謝感激に耐え忍んで頑張っているのが今の心境です。謹んで御礼の言葉とさせていただきます。

～入所者より～



平成20年度

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金



ご協力ありがとうございました

募金の使われ方

赤い羽根募金



皆さまからいただきました赤い羽根募金は、翌年度の福祉事業や福祉車両購入などのために使われます。今年度の募金から配分を受ける予定の鶴岡市内の団体、または事業の内容について以下のとおりお知らせいたします。

○鶴岡市内の福祉施設、団体への配分

対象区分	活動内容	件数	配分金額
ボランティア団体、地域組織、NPO等への配分	サマーボランティア事業、災害ボランティア研修会、福祉まつりなど	8	1,501,000
民間保育園への配分（福祉の心推進）	園児と高齢者との世代間交流事業	2	120,000
小規模作業所への配分	障がい者の就労継続支援等を行うNPO法人などへの物品購入	10	1,276,000
学童保育所への配分	学童保育所で使用する物品購入	7	1,015,000
福祉車両整備への配分	福祉車両購入のため	3	4,500,000
合 計		30	8,412,000



○鶴岡市の地域福祉活動推進のため鶴岡市社会福祉協議会へ配分

対象区分	活動内容	配分金額
高齢者を対象とした福祉事業	健康・生きがいがづくりを目的とした事業、老人クラブ活動への支援	1,046,000
障がい児・者を対象とした福祉事業	障がい者団体、手をつなぐ育成会などへの支援	423,000
児童・青少年を対象とした福祉事業	小学生と親と一緒に参加する地域活動への支援	426,000
母子・父子を対象とした福祉事業	子育て家庭への支援を目的とした事業	237,000
ボランティア活動推進事業	ボランティア講座・研修会の開催、ボランティアセンター運営支援	1,313,079
サロン活動、福祉教育の推進	サロン活動、福祉教育推進事業	1,286,000
小地域福祉活動推進事業	地域関係団体への支援・老人センター事業	2,057,000
広報・調査活動	市社協広報誌、地域版広報誌の発行等	2,457,000
合 計		9,245,079



歳末たすけあい募金

歳末たすけあい募金の配分先は、配分委員会で検討いただき以下のように決定しました。募金は義援金として、昨年中に民生児童委員などから対象世帯へお届けいただきました。

	世帯員数	件 数	配分金額
①経済的に支援を必要とする世帯へ	1～2人	531	5,310,000
	3～4人	208	2,704,000
	5人以上	64	960,000
	小 計	803	8,974,000
②児童養護施設入所児童・生徒（七窪思恩園入所者）	児童生徒数	21	183,000
小 計		824	9,157,000
募金運動に関わる事務費経費		—	290,000
地域福祉活動配分（社会福祉協議会地域福祉事業へ充当）		—	344,827
合 計		824	9,791,827



情報掲示板

ふれあい福祉相談

鶴岡市社会福祉協議会では、失業や病気などにより一時的な生活費が必要になった世帯に対して、たすけあい資金・生活福祉資金(修学資金・離職者支援資金など)の貸付制度の利用に関する相談や、高齢者・障がい者の日常的な金銭管理(福祉サービス利用援助事業)に関する相談などに応じています。

また、併せて毎月無料の弁護士相談(要予約)を実施しています。

常設相談

- 日時：月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

8:30～17:15

弁護士相談(無料・要予約)

- 日時：下記の日程 10:00～15:00

4月15日(水) 5月20日(水) 6月17日(水)

7月15日(水) 7月22日(水) 8月19日(水)

9月16日(水)

- 会場および問合せ先：お近くの各福祉センター

鶴岡地区福祉バス抽選会(7月～10月) 事前申請受付

鶴岡地区福祉バス抽選会(7月～10月)のための事前申請を次の日程で行います。

- 申請期間 平成21年4月20日～5月15日まで

- 提出先/問合せ 鶴岡福祉センター ☎24-0053

※申請書は当センターに準備しております。

障がいのある方へパソコンボランティアを派遣します

山形県身障協会では、外出困難でパソコン教室に来られない方へ、ボランティアが自宅などに伺いサポートを行います。

- 対象者 県内にお住まいの視覚・聴覚・上肢機能障がい者及び障がいにより外出が困難な方

- 日程・時間 1回2時間程度の派遣

- 派遣料 無料

- 問合せ 社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会
山形市大字大森385 ☎023-686-3690

車両寄贈ありがとうございました

「24時間テレビ」チャリティ委員会様から入浴専用車を寄贈していただきました。訪問入浴サービスふれあいで活用させていただきます。



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成20年12月21日から平成21年2月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

真言宗豊山派仏教青年会 様 64,797円
山口 春治 様 50,000円
(宗)日本キリスト教団鶴岡教会イヴの集い 様 6,000円

三山大愛教会 様 500,000円
鶴岡市朝市の会 様 10,703円
NECセミコンダクターズ山形労働組合 様 242,296円

黄金婦人会 様 26,860円

◎藤島福祉センター

匿名 様 タオル100枚
庄内たがわ農協女性部藤島支所 様 10,000円

◎羽黒福祉センター

羽黒町グラウンド・ゴルフ愛好会 様
ポケットボールセット2セット、スマイル
ゴートボウリング1セット

◎櫛引福祉センター

鶴岡市櫛引西小学校4年生「地球をやさしく
守り隊」 様 1,050円

◎朝日福祉センター

朝日老人クラブ青年部 様 手品用品一式

◎温海福祉センター

(株)ケアポリス温海 様 30,000円
今野 定男 様 50,000円

★なえづヘルパーステーションへ

匿名 様 軽自動車1台

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

産直あぐり 様 りんご5箱
マックスバリュ鶴岡南店 様
歯磨きセット、ハンドソープ、ティッシュ
ボックス、ジュース各80個

★高齢者福祉センターおおやまへ

佐藤 孝昭 様 吸引器1台
伊藤 次郎 様 100,000円
廣瀬 進 様 加湿器1台

★デイサービスセンターおおやまへ

長谷川 浩一 様 甘酒300升(400人分)
アークベルグループチャリティ募金事務局 様
車椅子1台

★くしびきデイサービスセンター・くしびき保育園へ

(株)産直あぐり 様 りんご5箱

★くしびきデイサービスセンターへ

アークベルグループチャリティ募金事務局 様
車椅子1台
本間 徳世 様 雑巾(手縫い)30枚

★障がい者福祉サービス事業所もみじが丘へ

武久 明雄 様 3,439円

★特別指定寄附 きらり宝町・京田やすらぎへ

庄内ヤクルト販売(株) 様 100,000円

卒園にむけて
ある日「何色のランドセルにするのか？」と保育園の子ども達に尋ねたことがありまして。ある子は「まだお父さん、お母さんには教えないけど、緑色のランドセルがいい。ちよつと黒っぽい緑にするんだ。」と私にこっそり教えてくれました。
「CMしている机を買ってもらった」と我慢し合っている姿もありました。中には「僕の部屋ができた」と言う子もいました。
でも、「勉強は難しいの?」「誰と帰るの?」と心配気な声も聞こえてきます。
卒園は寂しくもありますが、嬉しいことと、私も笑顔で迎えたと思います。

(T・T)

おだがいさま

第21号

平成21年3月15日発行

発行部数 49,500部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町14-26

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。